

青笹森林愛護少年団の体験活動支援について

1 はじめに

遠野市内には、小学校が11校あり、そのすべての学校に緑の少年団が組織されています。

その中で、今年度、青笹森林愛護少年団が結成20周年を迎えたこともあり、岩手県緑化推進委員会が、同団に対する表彰行事と併せて、「どんぐり・花を育てよう in 遠野」と題して、各種行事を実施することとなりました。

そこで、遠野農林振興センターは、共催者の一員として、少年団員が行う体験活動を支援したので報告します。

2 体験活動の概要

令和2年10月8日（木）、青笹小学校（青笹森林愛護少年団）の4～6年65名が結成20周年表彰行事に参列し、表彰を受けました。その後、講演会の聴講を経て、4年生23名が体験活動を行いました。



体験活動の内容は、木製プランターカバーづくり、プランターへのどんぐりの植付けとチューリップ球根の植付けの3種類で、当センターの普及指導員等3名が活動をサポートしました。

3つの活動の中で、少年団員たちが最も苦労したのが、木製プランターカバーづくりでした。各部材は初めからカットされ、キット化されていたものの、要領よく釘を打つことが難しく、大人の手を借りながら、完成させていました。



3 おわりに

活動終了後、参加した少年団員の一人から、「大きく芽吹くのが今からとても楽しみ」という感想がありました。

今回植えたどんぐり（ミズナラ）は、来年度開催予定の岩手県緑の少年団大会で、植樹用の苗木として利用される予定となっています。

今後も同大会をはじめ、機会を捉えて、少年団の育成に関わっていきたいと考えています。

